

エクストリームシリーズ2012 奥多摩大会

奥多摩大会優勝チームコメント

サニーサイト信濃santaよんたゴタ 萩原 勝仁 さん

今シーズン初めてのアドベンチャーレース サニーサイトチームは、2チームのエントリー。一軍 信濃Santaよんたゴタ メンバーは、いっぼん(3子の父)ゆうちゃん(2子の父)自分(3子の父)のおやじチーム。二軍 ラブユ-松本は 総隊長横内(じじ) みきちゃん(2子の母) たけちゃん(彼女募集中) 新人2人のチーム プラス留守番隊 小学校1年から6年までの5人で、信濃の国を前日21時頃出発し奥多摩を目指す。いつもの事ながら仕事後の出発は老いてきた身体にはきつい。奥多摩が一番近いのだが5時間かけて到着。

朝7時頃ようやく起きるが眠い。完全にやる気なしで、キャンプモード全開。子供達と楽しい朝食をとりレースの準備をする。大変だけど子供がいると楽しいな

10時予定どおりスタート 最初の種目はランニング、おやじチームにランニングはきつい。地図をゲットしスタート地点に戻ってきた時は20番手位か、2軍チームより遅い。いつもながらのスロースタート。次はMTB、CP2に向かう途中で2軍を抜く。じじが今にもくたばりそうでしたが、エールを送りさようなら。途中変態パワーとランデブー。2008年桜枝岐大会以来の再会、思い出話に花が咲く。当時は総合4位を争ったかな。

CP2に到着するころには6番手ぐらいに順位をあげる。今日のレースはこの順位かな とこの時点では思ってたのである。ここからCP6までの間にドラマが起こる。前のチームは早い、後続のチームも早い。ここで今レース最悪のミス自分を起こしてしまう。2人より先行しすぎて、CP3を通過してしまった。しかしここは隊長いっぼんがボックス番号を記入していたので、カードを投稿するべく、ボックスの位置を確認し、すぐさまCP3へ向かう。このミスで1つ順位を落としてしまう。CP4に着くまでに順位を戻すが先行するチームとはタイム差がついてしまう。大声のチームチャレンジを一発でクリアしCP5を目指す。ここでも1チーム抜きに成功!

CP5からCP6が今回のウイニングポイントになる。登山道を下り、登り返すか、CP3に向かった尾根にトラバースするか決断をせまられる。トラバース、これが大当たりしCP6に着いたとき下からコナウィンが上がってきた。追いついた。しかし先行する1チームがある。変態パワーだ。このチームには飯田市のキコリさんがいる。この方、地図読みとパワーが凄い。コナウィンもスピードがある。

しかし、おやじチームにも意地がある。なにより子供達が期待をこめて待っている。MTBを走らせCP10へ向かう。変態パワーとの差10分強、カヌーセクションへランニングで向かう。カヌーセクションでタイムを少し詰めたがコナウィンも後ろから迫ってくる。レースの緊張感が最高に楽しい。アドレナリン大爆発。しかしここでもちよいミスが、クイズの奥多摩町の町標を間違えてしまう。10分のペナルティタイム 気にしない、気にしないようにする。

13に向かう途中で、一人遅れている変態パワーを抜く。ここで暫定1位。CP13からはMTB 残すはCP2カ所とゴールのみ ペダルを廻すグルグル廻す シリーズ戦初めてのトップゴール、だが、まだ暫定だ。10分のペナルティーがある。2年前の初優勝した奥大井大会、とれいるざんまいの久保田さんの言葉を思い出す。トップでゴールしたからいいじゃないかとチームメイトに声をかけてた。当時、サニーサイトチームは2位でゴールしたが10分の間に4チームが入る大混戦 クイズで優勝できた感じだったかな

今回はトップでテープを切れた事が嬉しい。優勝か2位か3位か...10分が一時間のように長く感じる。後方のチームが山を降りてこない。ゴールしてから10分が過ぎたとき、1位が決まった。完全優勝だ。いっぼん ゆうちゃん とチームを組んでシリーズ戦初のトップゴールでの優勝! 本当に嬉しい! でもちょっと残念なことが、勝手に師匠にしているビール大魔神が今回出場していない。次は出場しているとき優勝したいな。

今回は総合5位に2軍チームも入り、サニーサイトチーム、2チーム入賞の快挙! みきちゃん たけちゃん じじの世話ありがとう。じじも良くがんばりました。

我部さん始めスタッフの方々、全参加者の皆様、地元の皆様、チームメイトに、心から感謝します。

最後に残り2戦、皆でシリーズ戦盛り上げましょう。

柿生祭Aチーム 林 建 さん

今年4月の那珂川大会で、中学生になりたての12歳の息子を、急遽欠員補充で参戦させて依頼、息子はすっかりアドベンチャーレースの虜になってしまった様です。今回の奥多摩大会ではしばらく参加を見合わせていた母ちゃんを巻き込んで、念願の家族チームで参加させて頂きました。記念すべく家族チーム1号と聞いて嬉しくなりました。

大人になるってつまらない事じゃないんだぜ！面白い事がいっぱい出来るんだぜ！って身体で表現してきた、父ちゃん母ちゃん、柿生祭(かきおまつり)のやんちゃんな大人たちをずっと傍で見えて来た息子なので、予備情報やイカした心構えはバッチリ。身体は大きくなって、大人の体力はまだまだなので、イメージしていたアドベンチャーレースとのギャップに悪戦苦闘していましたが、へこたれずチームの一員として最後まで頑張っている息子を見て、私は抑えきれず『ナイス息子！お前ぶっ飛んでるぜ！』と心の中で叫びました。

母ちゃんも久々参加の割に、一番身体が動き、元気よく我がチームを引っ張ってくれました。体重100kgの私は後半付いて行くのが精一杯でしたが、3人で力を合わせたからこそゴールの時の感動は大きかったです。

チームメイトの協力、開催地の自然や地元の方々、大会参加者とのふれあいなど、このアドベンチャーレースは、とてもいい刺激になっています。これからもアドベンチャーレースを通じて、柿生祭のメンバーと共に色々な事にチャレンジしていきたいと思っています。今後も部活の合間に参戦するであろう息子の成長もお楽しみに。

今年になってやっと柿生祭のチームジャージが出来たので、16人程いるメンバーもいつになくテンション上げ上げ！いつも成績上位とはいきませんが、全力で楽しもうと思います。ありがとうございました。